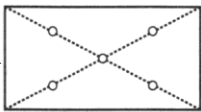


土壌検定依頼用紙

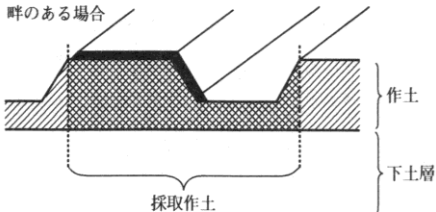
記入日 年 月 日
 受付日 年 月 日

団体名				お名前		
ご住所 <small>会員は略可</small>				電話番号		
				FAX番号		
圃場NO 圃場名		面積	町 反	土壌採取月日	月	日
使用資材予算 : 約				万円/反	土質	未熟土・黒ボク土(火山灰土)・赤色土・集積土・ほか()
作付予定作物		品種		作付予定日		
目標収量	Kg/10a	前作作物		ハウス・露地(マルチ: 有・無)		
前作使用肥料 (前土検No)						
前作堆肥投入	有(t/10a)・無	水はけ	良い・悪い	作土の深さ	cmくらい	
前作収穫状況: 大いに良かった・良かった・普通・悪かった・ほぼ皆無だった						
圃場、栽培、施肥上の問題点があれば、何でもご記入ください。(果樹の場合、木の樹齢もご記入ください)						

右図のように 

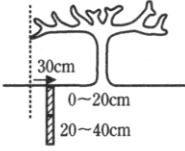
対角線採土法(畑、水田、ハウス)

畔のある場合



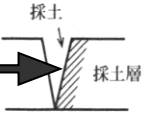
採取作土
(畑の土)

作物に合わせて採り方をお選び下さい。



代表的な5-6本について
各々2-3か所から採土する

(果樹園の土)

スコップを差込み、斜線部分の土を上から下までまんべんなく採取して 

【土の採り方】

- 注意事項:**
 重要事項
 有機肥料を使用している方は、特に施肥した肥料の記入漏れがないようお願いいたします。
 成分比もわかればご記入ください。
1. 土壌分析は施肥前に実施してください。
 2. 正確な測定結果が得られなくなるので肥料の粒が混入しないようお願いします。
 3. 施肥設計時に参考にするので、本紙記入の際は、なるべく記入漏れのないようお願いします。
 4. 送っていただく土の量は 2 握りほどをお願いします。
 5. 1 圃場につき 1 枚、この用紙を提出してください。

ポイント①: 軽く表面の土を取り除いて、吸収根が生えている深さ(約20cm)までの土を採取(上図のように圃場5カ所から採取するのが理想的。圃場ごとに混ぜて下さい)

ポイント②: できるだけ土塊を崩さずに採ったままの状態ですべて送ってください。

※太陽熱処理直後に採取したものは数字が過剰に出やすいですのでご注意ください。

あまり土を乾燥させないようにしてください

